

四日市版コミュニティスクール報告書(平成30年度総括)

四日市市立桜台小学校

校長 矢田 昌也

1 コミュニティスクール(学校運営協議会)のねらい

昨年度、四日市版コミュニティスクールの指定を受け、「桜台小学校運営協議会」が発足しました。2年次を迎えた今年度、本校の学校づくりビジョンに掲げた学校教育目標「夢と希望に向かって心豊かに学び合う子どもの育成」を実現するために、保護者や地域の方々の声を本校の教育活動に活かしながら学校経営の改善を図ることで、地域とともに歩む開かれた学校づくりをめざします。

2 コミュニティスクール(学校運営協議会)の実践について

本年度5回の運営協議会を持ちました。第2回は桜中、第4回は桜中・桜小と合同開催をし、同じ桜中学校区にある小・中学校の取り組み実践を交流し、地域の力を学校運営に生かしてきました。

(1) 教育活動の実践事例

①学習活動への支援

【学習支援ボランティアの活用：全学年】

一昨年度より学習支援ボランティアを積極的に活用しています。算数、理科、家庭、パソコン指導、外国語活動、環境、環境整備、畑作りにおいて、学習支援ボランティアが授業に入ってくださったり、授業の下準備をしてくださったりしました。特に、今年度は、園芸ボランティアの皆さんに、樹木の名札の書き換えをしていただいたことで、子どもたちが校庭の木々に興味関心をもち、名前を覚えようとする姿が見られました。

図書ボランティアの方々には、朝の読書の時間に各教室で読み聞かせやストーリーリングをしていただいています。特に低学年については、毎週金曜日の20分休みに、図書室で読み聞かせをしていただきました。また、毎朝、図書室の開館及びカウンター当番をしてくださるボランティアさんと話をし、心を開くことで、いい1日のスタートを切っている子どももいます。



②地域や人から学ぶ

【福祉体験：3年生】

桜ボランティア協会の方々から車いすでの介助のポイント等を教えていただいたことで、車いすの操作の難しさや、どのようなときに介助が必要なのかを学習することができました。

また、2人1組でアイマスクによる体験も行いました。視界をなくし、白杖をもって

歩くとき、介助役が前を歩き、的確な指示を声で行うことが重要であることを教わりました。

そして手話体験では、実際に手話で生活している方の話を聞きました。子どもたちは簡単な手話を体験し、関心を持つとともに、実際に生活で困っていることや工夫していることを教えていただき、自分の生活を振り返ることができました。



【「すがたをかえる大豆」～豆腐づくり～：3年】

3年生は、総合的な学習の取組で、学級園で大豆を育ててきました。そこで、今年度も Agri ロマン四日市サルビアの皆さんに来ていただき、豆腐作りを教えてくださいました。今年度はフリー参観に合わせて豆腐作りを行ったので、保護者の方々からも「子どもたちはいい体験をしている」「豆腐づくりの実際の様子を見ることができたので、家でも挑戦してみたい」など、感想をいただくことができました。



【「グリーンカーテン」の取組：5年】

環境ボランティアの方々へ協力していただいたおかげでりっぱな竹組が完成し、ゴーヤの苗がしっかりと育ち大きなグリーンカーテンができました。総合的な学習の「環境学習」の一環として、意識して学習しています。また、グリーンカーテンフォトコンテストに応募し、環境ボランティアさんの指導のもと、毎年入賞を果たしています。グリーンカーテンの取組を通して、自分たちの日々の学習が認められることの充実感や達成感を感じています。



【「ボランティアさんありがとうの会」の取組：3年】

1年間を通して、本校の教育活動を支えてくださっているボランティアの方々へ、お礼と感謝の気持ちをこめて、「ボランティアさんありがとうの会」を行いました。3年生が関わっている学習支援ボランティアさんに招待のお手紙を書いたところ、13名のボランティアさんに来ていただきました。

前半は、ボランティアのお仕事についてインタビューし、内容やどんな気持ちで仕事をしているかを教えていただきました。後半は、学習園で収穫したさつまいもを「ふかしいも」にして一緒に味わいました。子どもたちから「ありがとうの花」の歌と手作りのティッシュカバーのプレゼントをして温かい時間を過ごしました。



③保護者・地域へ開かれた学校づくり

【「桜地区防災フェスタ」：全学年】

本年度は、桜地区防災フェスタに参加し、全学年の児童が起震車体験や煙体験、水消火器体験などを行い、地域の人々と防災について学習しました。

また、1年生から4年生は、実際に新聞紙やゴミ袋



を使った防災グッズ（スリッパやカップ）作りを行ったり、5・6年生は避難訓練シミュレーションゲームにも参加したりすることで、防災への意識を高めることができました。

この日は、フリー参観（土曜授業）にしたため、多くの保護者も学習の様子を参加したり、ボランティアとして防災グッズ作りのアシスタントをしたりして、児童・保護者・地域の人々と共に防災についてしっかりと考える機会となりました。



【「学習支援ボランティア会議」を開きました】

一昨年度より、学習支援ボランティアさんのお礼として、6年生を送る会に招待しています。

今年度は、6年生を送る会を見ていただいた後、会議室にお集まりいただき、第1回学習支援ボランティア会議をもちました。集まった皆さん同士、自己紹介をした後に、1年の活動を振り返った感想や引継事項等を情報共有しました。



(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

本年度、運営協議会が発足して2年目、7名の運営委員の方々から様々なご意見をいただきながら、進めてきました。年間5回の協議会では、授業や学校行事の参観（6年生音楽集会・学校保健委員会）や、桜中学校区である桜中学校や桜小学校と合同開催し、同じ桜地区に住む他校の運営委員さんとの交流や懇談を行うことで、本校の学校運営や教育活動についてより理解を深めていただきました。また、いただいたご意見は職員に伝え、改善に努めてきました。

保護者アンケートでは、「学校は楽しい」「自分のことを大切にしながら生活している」「いじめやなかまはずしをせず、友だちを大事にしている」など全12項目中9項目が90%を超えています。子どもの姿を通して保護者は学校への信頼感をもちます。すべての子どもたちが安心して学校生活を送ることができるように、一人ひとりの子どもの思いを受け止めて、常に地域や家庭との連携を図っていきたくと考えます。そのために保護者や地域の方々にさらに学校の教育活動に関心をもっていただき、参画していただけるような取組を進めていきたくと思います。また、学校HPや学校だより「ひょうたん池」などで、子どもたちの様子を発信しながら、開かれた学校づくりを目指していきます。

3 今後に向けて

コミュニティスクールの指定は、子どもたちの豊かな成長を促進させるための重要な方策と考えています。特に、桜中学校区では、単独開催だけでなく、桜中学校との合同開催や、桜小学校も含めた3校での開催を行い、各校の様子について交流を深めながら桜中学校区の子どもたちの成長を見守っています。この地域に根差したスタイルを確立していくために、今後も運営委員の皆様のご協力・ご支援をいただきながら地域の教育力を学校教育に生かし、学校運営を進めていきたくと思います。

別紙B

平成30年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立桜台小学校

委員長 岡本 宏明

校長 矢田 昌也

月	協議会の開催	活 動 内 容
4		
5	14(月) 第1回学校運営協議会	教育委員会より運営協議会委員の委嘱 平成30年度学校づくりビジョンの説明と承認 平成30年度年間行事計画と活動方針の検討 授業参観・児童の様子について懇談
6	16(土) 第2回学校運営協議会	桜中学校運営協議会と合同開催 校区内の児童・生徒の様子について懇談 授業参観
7		
8		
9		
10		
11	13(火) 第3回学校運営協議会	6年生音楽集会(音楽会リハーサル)を参観 授業参観 授業参観・児童の様子について懇談
12		
1	19(土) 第4回学校運営協議会 31(木) 第5回学校運営協議会	桜中学校・桜小学校運営協議会と合同開催【桜小学校で開催】 校区内の児童・生徒の様子について懇談 学校保健委員会を参観 児童の様子について懇談 学校教育活動に関するアンケート結果報告 今年度の総括と来年度の予定
2		
3		